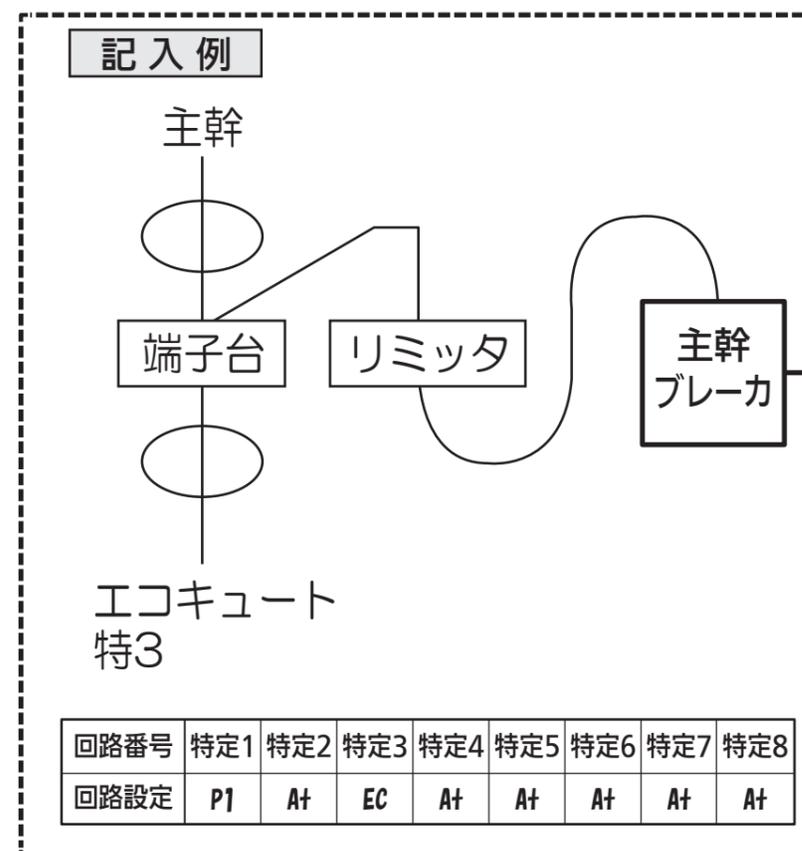


## エコネットライト対応計測ユニット 施工チェックシート

本ページを参考に裏面の記入シートにご記入ください

**ステップ 1** 下図の記入例を参考に施工状態を描図いただき、CTの取付位置を決めてください。(記入例は一例です)  
AiSEG2の分岐回路の名称を設定するのに使用します。(名称設定は12文字以内)



取付 CT 番号	増1	増3	増5	増7
回路名称	ト玄 イ関 し・ 廊下	照洋 明室 1・ 2	コ換 ン気 セ洗 ン面 ト台	コバ ンル セコ ント1
電圧区分	100	100	100	100
回路番号	1	3	5	7
回路番号	2	4	6	8
電圧区分	100	100	100	100
回路名称	和L 室D 照明	浴洋 室室 3・ 洗面 照明	コL ンD セント	コ洋 ン室 セント
取付 CT 番号	増2	増4	増6	増8

計測しない場合は「空白」にしてください。

	特7		特5	特6				
コ洋 ン室 セ2 ント	エ洋 ア室 コ2 ン	コト イセ レン ト	エ和 ア室 コ ン	浴室 乾燥 機	計測 ユニット 用電源			
100	100	100	200	200				
23	25	27	29	31	33	35	37	39
24	26	28	30	32	34	36	38	40
100	100	200	200					
コ洋 ン室 セ3 ント	エ洋 ア室 コ3 ン	エL アD コ ン	ヒ ーH ター	太 陽 光				
	特8	特2	特4		特1			

- ・主幹 CT  
太陽光発電がある場合は売電・買電の両方が測定できる位置に取付けてください。主幹 CT の設置位置より上位に分岐線がある場合、その回路は計測できません。
- ・特定 CT  
太陽光、外部発電、エコキュート、別盤加算、単相三線負荷(オプション)、過電流検知(オプション)の計測としてご使用する場合はそちらを優先させてください。分岐負荷回路の計測としてご使用の場合は、特定回路は電圧・電圧相設定が可能ですので、200Vの負荷から優先させて選定してください。

太陽光発電がある場合は、必ず計測してください。計測しないと計測表示やグラフが正しく表示されません。

特定1～4はCT(150A)専用(緑色・ラベル色は黒・白)、特定5～8はCT(30A)専用(緑色・ラベル色は赤・白)です。誤接続すると、誤った計測値になりますのでご注意ください。

当社製パワーステーションとAiSEG2を接続する場合は、発電量は通信で取得するためCT計測は必要ありません。  
※太陽光設定したCTで当社製パワーステーションを計測すると、計測値は約2倍の異常値になります。

### オプション

- ・増設 CT  
増設 CT は分岐負荷回路専用 CT です。増設 CT1～10回路は電圧設定が可能ですので、200Vの負荷から優先して設定してください。増設 CT11～30回路は電圧・電圧相設定がない100V負荷専用です。(施工後、AiSEG2の設定画面で回路名称とCTの関連付けを行いますので、回路番号と増設CTの番号を合わせる必要はありません)奇数番のCTはL1側、偶数番のCTはL2側を計測するようにしてください。

### 主幹 CT および特定 CT、増設 CT 施工・設定

主幹ブレーカ1次側の施工状態を描図いただき、エコネットライト対応計測ユニットと接続するCTの施工位置をご記入ください。(表示部での設定に使用します。詳細は施工説明書の「設定方法」をご参照ください)

### オプション

- ・単相3線負荷計測 CT  
単相3線負荷や同系統下の別盤を計測したい場合は、特定用CT分割形(150A)【別売品】を2つ使用します。CTの施工位置および設定情報をご記入ください。
- ・増設 CT  
追加で計測したい回路がある場合や全分岐回路を計測したい場合は、計測回路増設アダプタ用分岐増設CTセット【別売品】を使用します。CTの施工位置および設定情報をご記入ください。
- ・過電流検知 CT  
主幹ブレーカまたは電流制限器の過電流を検知したい場合は、過電流検知CTを使用します(別売品)CTの施工位置および設定方法については過電流検知CTの説明書をご参照ください。

### ステップ 2

ステップ1で作成した表を参考に、特定CT、増設CTの電圧区分、回路設定を確認してチェックシートに記載してください。

### ステップ 3

- チェックシートを参考にCTの取付け、回路設定を行ってください。
- ・ステップ1の表を参照して、CTを取付けてください。特定1～4にはCT(150A)を、特定5～8および増設1～30についてはCT(30A)を取付けてください。  
※CTには取付ける相と方向が決まっておりますのでご注意ください。詳細は施工説明書をご参照ください。
  - ・その他、実際の配線例や接続端子、電源・アース線の配線、無線登録などにつきましては施工説明書を参照の上、施工してください。

### ステップ 4

全ての回路で実際に負荷および発電設備のON/OFFを行い、AiSEG2側で正しく電力が計測できていることをご確認ください。また、チェックシートに記載した回路名称をAiSEG2側に設定してください。

